

問1 八幡製鉄所などが発展を支えた、鉄鋼や機械などを作る大きな産業分野を何という？

1. 重工業 2. 繊維工業 3. 化学工業 4. 軽工業

問2 プロイセンへ留学してドイツ流の憲法を学び、日本で憲法草案作成の中心となった初代内閣総理大臣は誰？

1. 松方正義 2. 伊藤博文 3. 大隈重信 4. 山県有朋

問3 1894年に、イギリスとの間で条約改正交渉を行い、領事裁判権の撤廃に成功した外務大臣は誰？

1. 井上馨 2. 小村寿太郎 3. 伊藤博文 4. 陸奥宗光

問4 明治時代に、銅山の鉱毒によって流域の農作物や住民に甚大な被害を与えた事件を何という？

1. 水俣病 2. イタイイタイ病 3. 足尾銅山鉱毒事件 4. 四日市ぜんそく

問5 明治時代にアフリカへ渡り、黄熱病の研究に尽力した福島県出身の有名な医学者は誰？

1. 野口英世 2. 北里柴三郎 3. 高木兼寛 4. 志賀潔

問6 1905年に日露戦争の講和条約として結ばれた条約を何という？

1. 日米安全保障条約 2. ワシントン海軍軍縮条約 3. サンフランシスコ平和条約 4. ポーツマス条約

問7 日露戦争後に結ばれたが、日本は賠償金を得ることができず、国民の不満から暴動が起きた講和条約を何という？

1. 南京条約 2. ポーツマス条約 3. アイグン条約 4. 北京条約

問8 1873年に地租改正を行い、安定した財源確保を図った組織を何といいますか？

1. 内閣制度 2. 太政官 3. 明治政府 4. 地方議会

問9 明治時代末期の1911年に、過酷な労働条件から労働者を守るために制定された最初の法律を何という？

1. 工場法 2. 労働組合法 3. 労働基準法 4. 船員法

問10 1905年に日露戦争の講和のために結ばれた条約を何という？

1. 日清修好条規 2. 日朝修好条規 3. 日米修好通商条約 4. ポーツマス条約

問11 岡倉天心が日本美術の振興を目的として設立に貢献した、現在まで続く芸術教育機関を何という？

1. 東京工業学校 2. 東京美術学校 3. 東京大学 4. 東京外国語学校

問12 八幡製鉄所が鉄鉱石の調達先としていた国はどこ？

1. 朝鮮民主主義人民共和国 2. モンゴル 3. 中国 4. 大韓民国

問13 明治政府が不平等条約の改正を目的として、1871年に欧米へ派遣した使節団を何という？

1. 岩倉使節団 2. 遣欧使節 3. 遣米使節 4. 遣唐使

問14 明治時代の殖産興業政策によって、企業が利益を目的として運営され、生産と販売が行われる経済体制のことを何という？

1. 計画経済 2. 重商主義経済 3. 資本主義経済 4. 市場経済

問15 『社会契約論』を著し、フランス人権宣言に多大な影響を与えた思想家は誰？

1. モンテスキュー 2. ヴォルテール 3. ロック 4. ルソー

問16 1871年、プロイセンを中心に成立し、岩倉使節団が欧米へ派遣されていた時期に誕生した国を何という？

1. イタリア王国 2. ドイツ帝国 3. オーストリア帝国 4. スペイン王国

答え合わせ・解説

問1	答え 1 重工業	八幡製鉄所の操業は、造船や機械製造といった重工業を発展させる土台となりました。これまでの製糸や紡績などの軽工業から、大規模な設備と高い技術が必要とする産業への転換が図られたのです。
問2	答え 2 伊藤博文	伊藤博文は憲法調査のために渡欧し、特にプロイセンの憲法に注目しました。帰国後は政府の中心となって憲法草案の作成にあたり、1885年に内閣制度が始まると初代内閣総理大臣に就任しました。天皇を頂点とする君主権の強い体制を維持しつつ、議会を開設するという慎重な設計を行いました。
問3	答え 4 陸奥宗光	陸奥宗光は外務大臣として、日英通商航海条約を調印し、日本を苦しめていた不平等条約の一つである領事裁判権の撤廃を実現しました。
問4	答え 3 足尾銅山鉱毒事件	足尾銅山から排出された鉱毒（煙や廃水）が、周辺の山林を枯らし、渡良瀬川に流れ込んで農地を汚染しました。これにより流域の農作物が育たなくなり、住民の健康被害も発生する深刻な公害問題となりました。
問5	答え 1 野口英世	野口英世は、幼少期の事故による障害を克服して医学を学び、渡米して細菌学の分野で大きな功績を上げました。特に黄熱病の病原体を解明しようと、アフリカへ渡り現地で調査を続けました。
問6	答え 4 ポーツマス条約	アメリカ大統領セオドア・ルーズベルトの仲介により、アメリカのポーツマスで結ばれました。ロシアは朝鮮における日本の優越権を認め、遼東半島の租借権などを日本に譲りました。
問7	答え 2 ポーツマス条約	1905年にアメリカのポーツマスで結ばれました。日本は朝鮮での優越権と、ロシアから旅順・大連の租借権や樺太の南半分を譲り受けましたが、賠償金は一切得られませんでした。
問8	答え 3 明治政府	1873年、地租改正を実施しました。土地の所有者に地券を発行し、土地の価格（地価）に基づいて税率を定め、現金で納めさせるという仕組みです。これにより、豊作や凶作の影響を受けない安定した税収が可能となりました。
問9	答え 1 工場法	工場法は、特に被害を受けやすかった女性や年少者の労働時間を制限し、危険な仕事への就業を禁止するなど、労働環境の改善を目指した法律です。
問10	答え 4 ポーツマス条約	1905年、アメリカのポーツマスで結ばれたポーツマス条約により、日露戦争は終結しました。この条約の結果、日本は朝鮮における優越権を認められ、南満州鉄道の経営権などを獲得しましたが、賠償金が得られなかったため、国民から不満の声が上がりました。
問11	答え 2 東京美術学校	岡倉天心はフェノロサらと共に、日本独自の伝統的な芸術技法を継承・研究し、新しい日本画を創造することを目指しました。その拠点として1889年に設立されたのが東京美術学校です。
問12	答え 3 中国	八幡製鉄所は、当時の清（中国）にある大冶鉄山などから鉄鉱石を調達しました。地理的に距離が近く、海上輸送が容易であったため、安定した原料供給体制を整えることができました。これにより、日本の製鉄業は順調に生産量を伸ばすことができました。
問13	答え 1 岩倉使節団	1871年、政府は岩倉具視を特命全権大使とし、木戸孝允や大久保利通など政府の要人らを欧米へ派遣しました。当初の目的であった条約改正の交渉は、日本側の準備不足や委任状の不備などにより成果が得られませんでした。しかし、欧米の産業や教育、軍事制度などを詳細に調査し、帰国後に日本の近代化政策を推進する重要な基礎となりました。
問14	答え 3 資本主義経済	資本主義経済とは、民間企業が資本（お金や機械）を投資し、商品を生産して市場で売ることによって利益を上げる仕組みです。この過程で銀行などの金融機関や会社組織が発達し、日本は急速に工業化が進みました。
問15	答え 4 ルソー	ルソーは『社会契約論』の中で、国家の主権は人民にあるとする「人民主権」を唱えました。彼の考えは、フランス革命やその後の民主主義思想に大きな影響を与えました。
問16	答え 2 ドイツ帝国	ドイツ帝国は強力な君主権を持つ国家であり、産業革命の急速な発展とともに軍勢力も強化しました。その中央集権的で強固な政治体制は、近代国家への脱皮を図っていた当時の日本にとって、西洋のモデルとして非常に魅力的に映りました。